

## 2023年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年2月7日

上場会社名 株式会社メルカリ 上場取引所 東  
 コード番号 4385 URL <https://about.mercari.com/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役CEO (氏名) 山田 進太郎  
 問合せ先責任者 (役職名) 上級執行役員 SVP of Corporate (氏名) 江田 清香 TEL 03 (6804) 6907  
 兼 CFO  
 四半期報告書提出予定日 2023年2月14日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

## 1. 2023年6月期第2四半期の連結業績（2022年7月1日～2022年12月31日）

## (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年6月期第2四半期	84,285	18.4	5,832	—	5,967	—	1,202	—
2022年6月期第2四半期	71,191	47.7	△1,774	—	△1,797	—	△2,728	—

(注) 包括利益 2023年6月期第2四半期 982百万円 (—%) 2022年6月期第2四半期 △2,509百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年6月期第2四半期	7.47	7.37
2022年6月期第2四半期	△17.11	—

(注) 2022年6月期第2四半期における潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年6月期第2四半期	375,275	40,394	10.3
2022年6月期	339,862	37,998	10.8

(参考) 自己資本 2023年6月期第2四半期 38,766百万円 2022年6月期 36,756百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年6月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年6月期	—	0.00	—	—	—
2023年6月期 (予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2023年6月期の連結業績予想（2022年7月1日～2023年6月30日）

当期の連結業績予想につきましては、合理的な業績予想の算定が困難であるため記載しておりません。なお、当該理由等は、添付資料（P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報（4）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」）に記載しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年6月期2Q	161,357,247株	2022年6月期	160,813,967株
② 期末自己株式数	2023年6月期2Q	103株	2022年6月期	103株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年6月期2Q	160,979,237株	2022年6月期2Q	159,460,066株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当期の連結業績予想につきましては、合理的な業績予想の算定が困難であるため記載しておりません。なお、当該理由等は、添付資料（P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（4）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」）に記載しております。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) キャッシュ・フローに関する説明	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当社グループは、2023年2月1日に新グループミッション「あらゆる価値を循環させ、あらゆる人の可能性を広げる (Circulate all forms of value to unleash the potential in all people)」を発表いたしました。本ミッションは、旧ミッションである「新たな価値を生み出す世界的なマーケットプレイスを創る」の上位概念として、当社グループが社会に対して果たすべき役割を明記したものです。世界中のあらゆる人をUnleashする（可能性を広げる）存在を目指して、失敗を恐れず大胆な挑戦を続けていきます。新ミッションの実現に向け、筋肉質でグローバルな事業基盤を構築し、成長と収益のバランスを意識した経営を行うことを当期の事業方針に掲げC to CとB to C、そしてMarketplaceとFintechのシナジー創出による更なる成長を目指しております。

Marketplaceでは、「C to CとB to Cの連携強化を通じた出品増」を当期の事業方針として取り組んでおります。当第2四半期は、招待キャンペーンやメルカリ教室などのオフライン施策を通じた新規ユーザ獲得に注力するとともに、中長期での成長に向けた施策のPoC（注1）を推進しました。この結果、MarketplaceのGMV（注2）成長率は前年同期比+10%と概ね想定通りに進捗し、当第2四半期連結累計期間において4,752億円となり、前年同期比で393億円増加し、MAU（注3）は2,153万人となりました。

Fintechでは、「グループシナジー強化による循環型金融の促進」を当期の事業方針として取り組んでおります。さらなるCredit事業の成長と収益基盤の強化に向けてクレジットカード事業への参入を発表し、2022年11月8日から「メルカード」の提供を順次開始しております。会員獲得や利用促進に向けたキャンペーン実施中の初速ではありますが、会員数は好調に伸長しております。提供開始に伴い、「メルカード」の会員獲得や利用を促す投資を開始しておりますが、2021年6月期より推進してきたCredit事業によって一定の収益基盤が構築されており、また、順調に成長を続けていることから、Fintechは当第2四半期においても調整前（注4）営業黒字となりました。

以上の結果、Japan Regionの当第2四半期連結累計期間においては売上高58,427百万円（前年同期比20.9%増）、セグメント利益16,305百万円（前年同期比128.9%増）となりました。

USでは、「出品と購入両方の促進に向けたプロダクトの磨き込みに注力」を当期の事業方針として取り組んでおります。一定の認知度を獲得できている中、ターゲットを絞った効果的な広告によって新規ユーザが増加しMAUは516万人となりました。一方、GMVは引き続きインフレ等による購入鈍化の影響を受け、当第2四半期連結累計期間において528百万米ドル（739億円。月次平均為替レート換算での積み上げ）となり前年同期比で52百万米ドル減少し、以上の結果、USの当第2四半期連結累計期間においては売上高23,022百万円（前年同期比13.9%増）、セグメント損失6,324百万円（前年同期は4,567百万円の損失）となりました。

これらの結果、全体として当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高84,285百万円（前年同期比18.4%増）、営業利益5,832百万円（前年同期は1,774百万円の損失）、経常利益5,967百万円（前年同期は1,797百万円の損失）、親会社株主に帰属する四半期純利益1,202百万円（前年同期は2,728百万円の損失）となりました。

#### (注)

1. 「Proof Of Concept」の略。新しいアイデアの実証を目的とした、試作開発の前段階における検証やデモンストレーションを指す。
2. 「Gross Merchandise Value」の略。流通取引総額のことを指す。
3. 「Monthly Active Users」の略。1ヶ月に1回以上アプリ又はWEBサイトをブラウジングしたユーザの四半期平均の人数。
4. Marketplace・Fintech間の内部取引（決済業務委託に関わる手数料）を控除前の営業損益を指す。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産につきましては、前連結会計年度末に比べ35,412百万円増加し、375,275百万円となりました。

主な増減理由は以下のとおりです。

- ・現金及び預金の主な増減理由は「キャッシュ・フローに関する説明」に記載しております。
- ・未収入金は、主に「メルペイスマート払い（翌月払い・定額払い）」の利用増加に伴い、前連結会計年度末に比べ17,380百万円増加しております。
- ・差入保証金は、主に「メルカリ」及び「メルペイ」の利用金額の増加に伴い、法令に基づいた供託を実施したことにより、前連結会計年度末に比べ24,998百万円増加しております。

## （負債）

当第2四半期連結会計期間末における負債につきましては、前連結会計年度末に比べ33,016百万円増加し、334,880百万円となりました。

主な増減理由は以下のとおりです。

- ・借入金は、主に翌月払い及び定額払い債権の流動化を実施したことにより、前連結会計年度末に比べ13,212百万円増加しております。
- ・預り金は、主に「メルカリ」及び「メルペイ」の利用金額の増加に伴い、前連結会計年度末に比べ16,277百万円増加しております。

## （純資産）

当第2四半期連結会計期間末における純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ2,396百万円増加し、40,394百万円となりました。

主な増減理由は以下のとおりです。

- ・資本金は、新株発行に伴い、前連結会計年度末と比べ444百万円増加しております。
- ・資本剰余金は、新株発行に伴い、前連結会計年度末と比べ444百万円増加しております。
- ・利益剰余金は、主に親会社株主に帰属する四半期純利益の計上に伴い、前連結会計年度末に比べ1,202百万円増加しております。

## （3）キャッシュ・フローに関する説明

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ8,970百万円減少し、当第2四半期連結会計期間末には202,435百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により使用した資金は、21,450百万円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益5,221百万円、預り金の増加額16,681百万円、未収入金の増加額17,418百万円、また、差入保証金の増加額24,999百万円によるものであります。

## （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により使用した資金は、257百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出279百万円、投資有価証券の取得による支出206百万円、敷金の回収による収入133百万円によるものであります。

## （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により獲得した資金は、13,163百万円となりました。これは主に、短期借入金の純増減額1,411百万円、長期借入金の借入による収入12,000百万円によるものであります。

## （4）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループはミッションの達成に向け、筋肉質でグローバルな事業基盤を構築し、成長と収益のバランスを意識した経営を行うことを今期の事業方針に掲げて取り組んでおります。一方で、中長期の成長に向けて事業の状況や環境の変化に合わせた機動的な投資を行うこと、また、米国に加え日本でも進行するインフレなど外部環境の変化が引き続き大きく、連結業績を見通すことが困難であるため、業績予想の公表を控えております。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	211,406	199,777
売掛金	4,454	5,443
有価証券	—	2,657
未収入金	80,287	97,667
前払費用	2,805	2,190
預け金	7,093	2,356
その他	2,156	9,159
貸倒引当金	△4,807	△4,656
流動資産合計	303,396	314,595
固定資産		
有形固定資産	3,462	3,168
無形固定資産	666	610
投資その他の資産		
投資有価証券	117	275
敷金	1,614	1,474
繰延税金資産	3,417	3,104
差入保証金	26,774	51,773
その他	413	273
投資その他の資産合計	32,337	56,900
固定資産合計	36,466	60,679
資産合計	339,862	375,275

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
短期借入金	54,254	55,665
1年内返済予定の長期借入金	1,348	1,928
未払金	18,217	20,865
未払費用	1,915	1,672
未払法人税等	1,525	4,123
預り金	139,094	155,372
賞与引当金	1,389	1,660
ポイント引当金	359	707
株式報酬引当金	91	318
その他	6,525	4,516
流動負債合計	224,722	246,830
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	50,000	50,000
長期借入金	25,749	36,970
退職給付に係る負債	75	46
資産除去債務	126	126
繰延税金負債	162	158
その他	1,028	749
固定負債合計	77,141	88,050
負債合計	301,864	334,880
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	44,628	45,073
資本剰余金	44,582	45,026
利益剰余金	△53,757	△52,554
自己株式	△0	△0
株主資本合計	35,453	37,544
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	—	△1
繰延ヘッジ損益	—	△131
為替換算調整勘定	1,303	1,355
その他の包括利益累計額合計	1,303	1,221
新株予約権	926	1,057
非支配株主持分	314	571
純資産合計	37,998	40,394
負債純資産合計	339,862	375,275

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年7月1日 至 2021年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)
売上高	71,191	84,285
売上原価	24,844	29,905
売上総利益	46,346	54,379
販売費及び一般管理費	48,121	48,546
営業利益又は営業損失(△)	△1,774	5,832
営業外収益		
受取利息	12	176
還付消費税等	14	—
為替差益	5	—
補助金収入	—	126
その他	22	54
営業外収益合計	54	357
営業外費用		
支払利息	65	62
為替差損	—	134
社債発行費	11	—
その他	—	25
営業外費用合計	77	223
経常利益又は経常損失(△)	△1,797	5,967
特別利益		
新株予約権戻入益	—	2
特別利益合計	—	2
特別損失		
投資有価証券評価損	74	45
リース解約損	—	519
解約違約金	—	114
その他	—	70
特別損失合計	74	749
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△1,872	5,221
法人税等	889	4,156
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△2,761	1,064
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△33	△138
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△2,728	1,202



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年7月1日 至 2021年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	△2,761	1,064
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	△1
繰延ヘッジ損益	—	△131
為替換算調整勘定	252	51
その他の包括利益合計	252	△81
四半期包括利益	△2,509	982
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△2,476	1,120
非支配株主に係る四半期包括利益	△33	△138

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年7月1日 至 2021年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△1,872	5,221
減価償却費及びその他の償却費	374	415
投資有価証券評価損益(△は益)	74	45
社債発行費	11	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1,423	△151
ポイント引当金の増減額(△は減少)	880	348
賞与引当金の増減額(△は減少)	△67	271
株式報酬引当金の増減額(△は減少)	59	226
受取利息	△12	△176
支払利息	65	62
売上債権の増減額(△は増加)	△1,169	△993
未収入金の増減額(△は増加)	△23,198	△17,418
未払金の増減額(△は減少)	3,160	2,598
預け金の増減額(△は増加)	3,057	4,708
預り金の増減額(△は減少)	19,972	16,681
前払費用の増減額(△は増加)	△2,132	593
その他	△602	△7,989
小計	23	4,442
利息及び配当金の受取額	12	176
利息の支払額	△65	△62
差入保証金の増減額(△は増加)	△19,501	△24,999
法人税等の支払額	△5,854	△1,501
その他	14	493
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△25,370</b>	<b>△21,450</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△181	△279
投資有価証券の取得による支出	—	△206
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△18	—
敷金の回収による収入	0	133
その他	12	95
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△186</b>	<b>△257</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	20,213	1,411
長期借入れによる収入	—	12,000
長期借入金の返済による支出	△25,200	△200
社債の発行による収入	49,876	—
株式の発行による収入	1,921	50
その他	△35	△97
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>46,775</b>	<b>13,163</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	722	△425
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	21,941	△8,970
現金及び現金同等物の期首残高	171,463	211,406
現金及び現金同等物の四半期末残高	193,404	202,435

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

## 税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、見積実効税率を使用できない場合には、法定実効税率を使用しております。

(セグメント情報等)

## I 前第2四半期連結累計期間（自 2021年7月1日 至 2021年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	Japan Region	US	計				
売上高							
外部顧客への売上高	48,119	20,211	68,330	2,860	71,191	—	71,191
セグメント間の内部 売上高又は振替高	192	—	192	274	467	△467	—
計	48,311	20,211	68,522	3,135	71,658	△467	71,191
セグメント利益又は損 失(△)	7,121	△4,567	2,554	△116	2,437	△4,212	△1,774

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、スポーツビジネス事業等を含んでおります。

## II 当第2四半期連結累計期間（自 2022年7月1日 至 2022年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	Japan Region	US	計				
売上高							
外部顧客への売上高	58,427	23,022	81,449	2,835	84,285	—	84,285
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	—	0	260	260	△260	—
計	58,427	23,022	81,449	3,095	84,545	△260	84,285
セグメント利益又は損 失(△)	16,305	△6,324	9,981	△543	9,437	△3,604	5,832

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、スポーツビジネス事業等を含んでおります。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは、従来「マーケットプレイス関連事業」の単一セグメントとしておりましたが、第1四半期連結会計期間より報告セグメントを「Japan Region」及び「US」に変更することといたしました。

これは、日本事業全体の戦略性をより強化し、更なるグローバル展開を推進するため、2022年1月1日に新経営体制に移行し、2022年7月1日より経営管理区分を変更したことによるものです。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。